

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第072号(通算)

令和4年10月7日(金)発行

10月に入り、日に日に秋めいてきます。4日、5日には体育系の部活動の南薩地区大会が各地で開催されました。今回からは、2年生が中心となる大会ですが、1年生も活躍しました。

さて、3年生にとっては、受験に対する不安などで、日々の勉強に重圧を感じることもあるでしょう。今回の後輩たちの頑張りを見て、自らを奮い立たせましょう。夢の実現は、少しずつ前進を続けていくことが大切です。高校生活の集大成となる進路実現。明るい未来を築いていきましょう。

全校朝礼 校長講話

令和4年9月26日(月)

最近、ある卒業生の保護者から嬉しい電話を頂きました。それは、「進学先の寮(県外の学校)にいる娘と話していると、いつも川辺高校に対するこんな感謝の言葉が出てくるんです。」「高校時代の毎日の補習や宿題等はとても大変だったけど、いまの学校で、高校時代に培った学習習慣がとても役立っている。8割の出来が合格ラインと言われている試験も難なくクリア出来ているのは、この習慣のおかげである。また、数年前にもこの学校に川辺高校の卒業生が在籍していたそうです。その先輩も大変優秀だったと学校の先生方が声をかけてくださるそうです。そして、『貴方は学ぶ姿勢が素晴らしい。』『挨拶や礼儀作法がとても素晴らしい。』と褒めてくださるそうです。『私は、高校時代と同じ様に行動をしているだけなのに……』。また、パワーポイントを使った発表を通じて、仲間と連携して事を進める経験が大変役立っているようです。自信を持って取り組むことが出来るのは、すべて川辺高校のおかげである。』といつも語りかけてくれています。とのこと。「娘を川辺高校に通わせられて大変よかった」とお母様からの言葉に私もとても嬉しくなり、勇気と自信を頂きました。高校時代に身に付けた習慣は、自分を輝かせる礎になると思います。

色気について

昨年も話した『色気』について話します。あるエッセイで「色気？」が目にとまりました。ここでは、色っぽい話をするものではありません。物事に没頭している人間のみがもつ「色気のようなもの」を指しています。いまで言う「オーラ」に当たるような言葉・概念かもしれません。

ここで言う「色気」とは「気配」のことです。物事にたけた者のみもつ気配である。剣豪

がもつ気配は殺気といわれ、その気配を発散している。それを受け取る力(感じる)が「感」である。今の若者には、その双方が消えかかっているようです。なぜかといえば、気配も感も、ともに地道な努力をした者にもみ授けられるものだからです。

彼等は今や、地道な努力などということからは程遠いところにいるのではないか。色気も気配も第六感も、彼等にとっては、もはや死語となってしまうのではないか。発散するものを持たない。発散しているものを感じ取る力をも持たない。この様になっていないのか？ある大学の教授が「最近の学生は地道な努力をする人を『ださい』と言って一笑に付してしまうんですよ。世の中どこか狂っていて、努力しない人間が必要以上の金を手にしている。それを、日常的に見せつけられていけばそうなりますよ」と言っていました。

私は、色気のようなものがにじみでるほど努力する川辺高校生になって欲しい、社会はそういう人材を求めているんだということを理解して欲しいと願っています。



「いじめ問題を考える」統一LHR

心とからだのSOSに耳を傾けよう

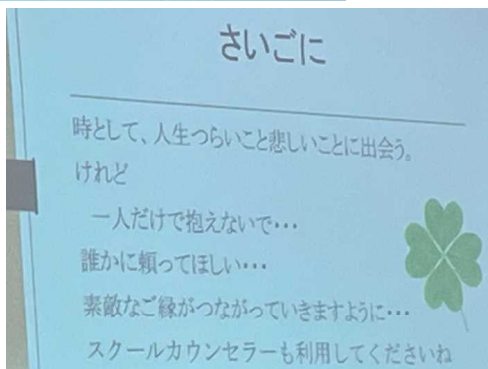
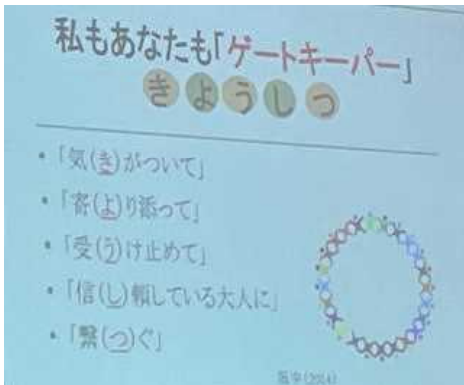
～ゲートキーパーについて～

川辺高校スクールカウンセラー

木下馨子先生



人が抱える色々なストレスについて説明とそのストレスに対する適切な対処法を学びました。さらに、心とからだのSOSの在り方を知り、対処法なども教えて頂きました。そして、ゲートキーパーとなる事の大切さと勇気を頂きました。



【講演後に熱心に質問している様子】

秋の交通安全運動

PTAも参加

今年の秋の交通安全運動は、9月21日～30日までの期間に、PTAの皆様による朝の立哨指導を行って頂きました。おかげさまで期間中、川辺高校生は、大きな事故もなく過ごす事が出来ました。ありがとうございました。



知覧・穎娃地区でも立哨指導をして頂きました。早朝よりありがとうございます。